

青指ニュース

第151号
 発行者
 河内長野市青少年指導員連絡協議会
 広報部

<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/~seishikyo/>



堺めぐりバスツアー開催！ (6月5日)

堺市役所、大小路橋、さかい利晶の杜、堺伝統産業会館、山口家住宅、鉄砲屋敷跡を巡る研修部主催の「堺めぐりバスツアー」に青指32名が参加しました。

地上80mの堺市役所21階展望ロビーでは、観光ボランティアガイドから眼下に広がる堺の町並みや仁徳天皇陵古墳などの説明を受け、淡路島、六甲山、あべのハルカス、生駒山、金剛山などが見渡せる360度のパノラマを楽しみました。

西高野街道の起点である大小路橋の道標は、車窓見学で、大きな歩道橋の下の茂みに隠れるように建っていたので注意しないと見逃してしまいそう！

「さかい利晶の杜」は、堺を代表する千利休と与謝野晶子の生涯や業績、その時代の堺の歴史文化について、パネルや映像を多用して分かりやすく展示していました。

昼食は、ホテル・アゴーラ リージェンシー堺26階のスカイバンケット「クリスタル」で豪華弁当。とても美味しかった～。

刃物、ゆかた、線香、自転車、和菓子などの伝統産業を紹介する堺伝統産業会館では、刃物の製造工程や様々な刃物を展示・販売する堺刃物ミュージアムを見学した後、お土産に和菓子を購入了。

江戸初期に建てられた町家の山口家住宅(重要文化財)は、住宅街の中で目を引く古い迫力のある大きな建物で、かまどのある広い土間は天井が高く、すごく落ち着いた雰囲気や歴史的な建物や民芸などに興味がある人にはたまらない施設だと感じました。

堺に唯一現存する鉄砲鍛冶屋敷(井上関右衛門家)は、火縄銃や懐銃、大筒や大いご、御用札などが保存されているそうです。内部非公開だったので、道路からの建物見学だけでしたが、木造の黒光りした外観に歴史と風格を感じました。

堺市の歴史、文化、伝統産業を身近に感じることができ、有意義でした。



親と子のふれあいDayキャンプ開催 (6月26日)

リーダー育成事業で、「親と子のふれあいDayキャンプ」が滝畑ふるさと文化財の森センターで行われました。

今回は、リーダー育成事業で初めての企画で、参加者は14名(親が8名、子が6名)、5班のグループで少ない人数でしたが和気あいあいと行われました。

午前中は、リーディングパルによるレクリエーションゲームを行い楽しく過ごし、昼前から皆でカレーライス等を作り、美味しく食べることができました。

昼からのものづくりでは、インディアンクロス(「神の目」と呼ばれ、神の象徴として、お守り

として子どもの成長を願って親が作ったという話もあるようです。)と竹鉄砲(班ごとに、的にめがけて打ちまくり)を作り喜んで頂けました。

帰りには、お父さん・お母さんからは楽しかったし、よかったとの言葉をいただき、一応子育て支援という形がとれたのではないかと思います、次回につなげていきます。



レコード鑑賞会実施 (4月24日)

研修部では青指メンバーの音フェス等文化活動面でのスキルアップの一環として「レコード鑑賞会」を千代田鳴尾(どんど)自治会館で実施しました。

当日は千代田校区東尾氏より提供を受けたプレイヤー・スピーカー・テーブルデッキで東尾氏の操作のもと、参加者が持ち寄った懐かしい昭和のヒット曲中心のレコード鑑賞を、ロック・ポップス・演歌など食事をはさんでAM10時~PM2時迄、約4時間堪能しました。

最近ではCDが中心で長期末使用のレコードが多く、盤をクリーニングしながらの鑑賞で東尾氏には大変ご苦労をおかけしました。



千代田中学校区

楽習室「サツマイモ植え・止血及び応急処置入門」

5月29日(日)

午前中、前半は千代田小学校、後半は楠小学校の児童を対象に実施しました。

植え付け前に、まず、サツマイモについてのミニ知識から。みんなに質問をします。

「サツマイモの原産国はどこでしょうか？」

「何の仲間の植物でしょうか？」

難しいのでヒントも提供しながらみんなで考えました。サツマイモはメキシコを中心とする熱帯アメリカが原産国と言われています。仲間の植物はアサガオです。アサガオも属するヒルガオ科という中にサツマイモも入っています。

次に植え付け作業の説明を聞き、1人3本ずつサツマイモのツルを植えました。

「どうするんやったかなあ？」と子どもに問いかけ、説明を思い出しながら作業するよう促すお母さんや「このくらいの穴?」「ツルの向きあってる?」と、一つ一つの作業を確認しながら植える子どもたち。参加した皆さんは一生懸命植えていただきました。

水鉢を作り、植えたばかりのツルにペットボトルで水やりをして完了です。

今年は家族ごとに植え付けた場所がわかるよう、ナンバープレートのついた杭を立て、収穫の時に自分の植えた芋を掘れる楽しみを試みました。

サツマイモの作業が終わると応急処置講習です。今回は野外でのケガを想定し、現役看護師さん2人で対応しました。作成したパンフレットで説明の後、骨折を疑う時に手近なものを利用して副え木をする体験などを実際にしてもらいました。

今回は参加者が少なく、千代田小学校児童12名と幼児1名、保護者9名の22名、楠小学校が児童5名と保護者1名の6名、スタッフは青少年指導員他10名でした。



南花台中学校区

楽習室「いちご大福づくり」

4月23日(土)

南花台小学校家庭科室で今年も「いちご大福づくり」の楽習室を開催しました。

今回の参加者は78名。9時15分から高学年、10時45分から低学年の2部構成でした。

昨年に続き、10名の中学生が小・中学校の先生

方4名とともにサポーターとして参加。準備から子ども達のサポートまで大活躍でした。



東中学校区

小中学校の先生方との懇談会

6月16日(木)

今年も恒例の東中学校と校区内の3つの小学校(川上、三日市、天見)の校長、教頭、生徒指導の9名の先生方との懇談会を行いました。

学校側から最近の子どもたちの状況や、課題と目標などを報告していただきました。

特に近年進められている「小中一貫教育」については、先生方の努力により着実に成果を上げ、手ごたえも感じておられるようでした。

一方、課題としては不登校の問題が取り上げられました。地域と学校、ヨコのつながりが教育への推進力となることから青指や地域への期待が大きいとのことでした。体験行事などの活動に加え、地域での声かけ、あいさつ、目配りなどが重要であることを私たち青指も再認識し、課題を共有できる貴重な機会となりました。

楽習室「フラ板ストラップ」と「熱気球」

5月28日(土)

つばめが軒下で子育て真っ最中の天見小学校の体育館にて楽習室が行われました。参加人数は16名でうち4名は保護者です。

今回は、理科要素たっぷりの「フラ板ストラップ」と「熱気球」

はじめにA4のフラ板を配り、好きな絵を描いてもらいます。切り取った手のひらサイズの絵は、オーブンで熱を加えることによりみるみる小さくなり、子どもたちはビックリしていました。

続いて熱気球です。ゴミ袋4枚を切り貼りして

布団状にする作業がとても難しく、青指スタッフ7名も散らばりお手伝いします。

ドライヤーの熱風を大きな袋に吹き込み空気は温められ軽くなり、ワクワクした子どもたちの想いも乗せて、天井まで舞い上がりました。



川上小学校ふれあい祭り 6月11日(土)

授業参観の後、全校生徒258名は事前に希望で決めた15ブース(居合、ダンス、バスケットボール、フラワーアレンジメント、等々)に分かれ、保護者ととも楽しめました。

青指は「竹鉄砲、折り紙ごま」、「バルーンアート」の2つのブースを、リーパルも「ぶんぶんごま」を担当しました。

講師は他に、健全育成会、町づくり協議会、川上公民館、居合道連盟、大東流合気柔術琢磨会、ピートストレッチス河内長野、等々大勢の地域の人たちで、学校、家庭、地域が一体となった有意義な一日でした。



西中学校区

第17回「西中交流会」開催

3月19日(土)

校区では春休みに校区内小学校(高向、天野)6年生と西中学校1年生の希望者が、いろんな取り組みをしながら親睦を深めることで、中学校入学時の不安を取り去り、又小学生最後の思い出づくりを目的に実施しています。

今年は当初関西サイクルスポーツセンターさんのご厚意で同所で開催予定でしたが、当日朝からあいにくの雨になり、やむなく天野小学校体育館でリーパルの指導でゲームをして半日でしたが交流

を深めました。

サイクルセンターでの開催を期待して、多数参加していただきましたが残念でした。

「西中交流会」も今年で17回目を迎えました、今後もいろいろ工夫をしながら引き続き開催していきたいと思います。



長野中学校区

楽習室「ちりめんモンスター」

6月18日(土)は小山田小学校で、6月25日(土)は長野小学校で子どもたちと楽しい「海の小さなモンスター捜し」をしました。

用紙の枠内に一匹ずつ、小さな魚の赤ちゃん！をボンドで張り、パンフレットと同じ名前を探すけれどもなかなか合致せず、時間はあっという間に過ぎていきます。

また、こどものモンスターの名前を書く字も、個

性が出ていて、ある意味では安心をしたひとときでした。

私たちも子どもたちより元気をもらい、最後に工作室の掃除と後片付けをしました。参加された方ご苦労様でした。



加賀田中学校区

楽習室「袋でクッキング」

6月18日(土)

今年度最初の青指担当の楽習室が加賀田小学校で参加者50名で行われました。

「袋でクッキング」とは、災害時など調理器具が無い場合に袋をお鍋代わりに使用する調理方法です。

当日は3品作りしました。ご飯はお米と水を入れるのみです。だし巻き卵は袋の中で卵とだしをクチュクチュ混ぜます。鳥肉のトマトソース煮はトマトジュースと切った材料を入れるのみです。後はそれぞれ時間は違いますが熱湯で茹でるだけで意外と簡単に出来上がりました。

いざ試食となり「ほんまに食べれるんやろかな？」とおそろおそろ食べてみると…これが案外美味しかったです。

子どもたちに感想を聞いたところ「こんな袋で出来るかなって思ったけど、食べたら美味しかった。」「これやったら私にも出来るから家で作ってみたい」など、みんなに喜んでもらった楽習室になりました。



美加の台中学校区

4団体交流会

4月16日(土)

新年度初めの恒例行事 4団体(小・中 PTA、育成会、青指)の交流会が開催されました。

毎年、校長先生、教頭先生と、各団体との顔合わせを目的とした懇親会ですが、近年小・中一貫教育を念頭に数々の取り組みをしてきた当美加の台。

「美加の台学園」という名の下で、学校と地域がひとつになり、子どもを見守り、支え、育てていく為に、より一層の協力と推進を確かめ合い、互いの懇親を深める場となりました。



「写真は、5月27日に小学校創立30周年記念の航空写真で小・中の児童、地域の人たちみんなで人文字を作っている様子です。」